

～食と健康の安全を考える学習会参加のご案内～

あなたの食卓と健康は大丈夫？

《遺伝子組み換え、成長ホルモン、農薬など輸入農産物の危険性を問う》

いま私たちの食生活は、世界中からの輸入農産物であふれ、輸入農産物なしで生活することはほとんどできません。TPP、日欧 EPA、日米貿易協定により、「アメリカやオーストラリアの牛肉がさらに安くなります」「美味しいワインが、チーズがお手頃価格になります」と宣伝されていますが、みなさんは食と健康に不安はありませんか。

豚肉、鶏肉は約半分、牛肉は約 6 割が輸入で、また豚や牛、鶏はエサとして遺伝子組み換えの大豆やトウモロコシを食べています。また国内ではゲノム編集食品という遺伝操作した食べ物が、自由に売られようとしています。

ホームセンターでも手軽に買えるグリホサート系除草剤、台所のコバエ退治で使われているネオニコチノイド系殺虫剤は、発がん性や神経毒性の危険性、ミツバチ減少、水質汚染など環境への影響が指摘され、使用禁止や規制を強化する動きが世界的に広がっています。がん患者や発達障がい者の増加との関連性を指摘する研究者もいます。

このように、「あなたの食卓と健康は大丈夫？」と不安になるようなことがすすんでいます。このたび、食の安全安心のために長年活動してきた斉藤敏之さんを迎え、「食と健康の安全を考える学習講演会」行いますので、この機会に多くの方のご参加をお願いいたします。

【日 時】 2月3日(月)14時～16時

【場 所】 岩見沢市民会館多目的室

【資料代】 300円

【講 師】 斉藤敏之さん

千葉県船橋市の野菜農家

1970年の船橋農産物供給センター設立に参加し、産直の全国組織の事務局長を務め産直運動の第一人。

中国産冷凍食品、輸入小麦原料のパンなどの残留農薬を告発している農民運動全国連合会の食品分析センター代表。



【主催】 農民運動北海道連合会

問合せ先 富沢 ☎090-9088-9083